

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 II - 2 (福祉心理学科)		必修 (福)	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
井上 美奈子	B311	minoue		月・火曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>グローバル化が進むなか、福祉分野、心理学分野で働く対人援助職者にとって必要な英語コミュニケーションスキルを伸ばすこと、また、分野に関連する語彙を増やし英語表現力や文献読解力を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>英語 II-1 に引き続き、文法の知識をより確実にし基礎医療、福祉、心理学分野に関連した内容を扱いつつ読解力や語彙を伸ばすための講義を同時双方向型授業を通し行う。当該分野で起こりうる会話を想定した演習を行いコミュニケーション能力育成をはかる内容となっている。またパラグラフライティング練習を行いまたそれにそったプレゼンテーションを行うことにより発音やリスニング、コミュニケーションスキルが身につけられるように構成されている。各ユニットごとに行う小テスト (Review Question) で基本的な文法の知識や語彙知識の確立を図る。またそれに対するフィードバックや受講生と質疑応答で英語知識、分野知識の理解を深める授業内容となっている。また、ITC を活用し CALL (コンピューターを使った英語学習) も、自己学習法を提案する。</p>				
学習上の助言	演習は積極的に参加すること。				
教科書	English for Rehabilitation, Care & Support II -Welfare and Psychology Version 13				
参考書	英和辞典、英英辞典 (ある場合)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	基本的な英文法を理解し応用できる。			HSU (2), 社・精、心	
②	福祉、心理学に関する文献を英語で読んで理解できる。			HSU (2), 社・精、心	
③	福祉、心理学分野にかかわる英語の語句、用語、言い回しが理解できる。			HSU (2), 社・精、心	
④	日常、専門分野において基本の英語コミュニケーションがとれるようにする。			HSU (2), 社・精、心	
⑤	CALL で自主的に英語勉強できる方法を身につける。			HSU (2), 社・精、心	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション シラバス (授業内容、成績評価法等) 及び授業の進め方について理解する。前期の復習をする。	同時双方向型授業	前期復習プリントを確認する。	0.3	
2	パラグラフライティングの基礎を学ぶ。夏休みについてのパラグラフライティングを完成させ、発表の準備をする。	同時双方向型授業	発表の練習をする。Unit3 単語の予習をする。	1.1	
3	発表/ Unit3 ICF に関する語彙を学びそれをもとに Reading を行う。	同時双方向型授業	ICF に関する英語表現を復習する。	1	
4	Unit3 ICF 文法確認と練習を行い Reading を続ける。	同時双方向型授業	現在完了形を復習する。	1.2	
5	Unit3 ICF ICF のコンセプトを使いケースをまなぶ。	同時双方向型授業	ICF の利用法を復習する。	1	
6	Unit3 ICF Unit3 の総復習を行い小テストに備える。	同時双方向型授業	プリントや教科書で復習し小テストに備える。	1	
7	小テスト (Review Question 1) / CALL コンピューターを使った英語学習サイトで listening, grammar, 会話文の練習をする。	同時双方向型授業 小テスト	CALL 学習を自己で行う。Unit6 単語の予習をする。	1.1	
8	Unit 6 Employment support の語彙を学び Reading を行う。	同時双方向型授業	就労支援に関する英語表現を復習する。	1	
9	Unit6 Employment support の Reading, Listening を行う。	同時双方向型授業	就労支援対策の内容を復習。	1	
10	Unit6 Employment support 文法を学び演習問題を行う。Unit 6 で学習した内容をプリントで確認、復習しテストに備える。	同時双方向型授業	助動詞の復習し Unit6 小テスト準備 Unit7 単語の予習。	1.2	
11	小テスト (Review Question 2) / Unit7 Counseling and psychology の語彙を学ぶ。	同時双方向型授業 小テスト	心理学について復習する。	1	
12	Unit7 Counseling の Reading を学習し理解する。	同時双方向型授業	心理学とカウンセリングについて復習する。	1	
13	Unit7 Counseling Reading を引き続き行い文法の確認をする。Unit 6 で学習した内容をプリントで確認、復習テストに備える。	同時双方向型授業	接頭語、接尾語についてプリント復習 Unit7 小テストに備える。	1.1	
14	小テスト (Review Question 3) / 前期の総まとめをワークシートで行う。	同時双方向型授業 小テスト	ワークシートでこれまでの復習を行う。	1	
15	後期試験の準備総括を行う。	同時双方向型授業	教科書やテストを使い復習。	1	
試	筆記試験 / 達成度評価・評価のポイントを参照後				

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	10	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	各ユニットが終わるごとに小テスト(Review Question -3 回実施トータル 30%), 学期末に定期試験(筆記試験 40%)を行う。各試験では授業中に取り組んだ課題の内容に基づく問題を出題し、理解度を筆記試験で問う。 なお、各テストの前にはレビューセッションを行い学んだ内容を復習する時間をもつ。				小テスト、全体評・試験の添削・返却
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①		宿題やレポートの提出 10%				提出物の添削と評価
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①		夏休みに関するパラグラフを完成させ発表する。 パラグラフライティング 10%、発表 10%				スクリプトの添削と返却 発表評価
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>遠隔授業では Teams を使った同時双方向型授業を行う。課題ダウンロード、CD リスニングなどを行いますので授業時は通信容量が無制限の WiFi 環境を奨励する。 様々な課題の提出期限厳守。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。 担当教員：井上美奈子</p>							